

■阿部定 不倫で猟奇殺人事件起すも模範囚として恩赦出所、敗戦直後のブームを経て厚生、優良従業員表彰に至った。

あべさだ

日露戦争終・1905＝ 東京神田区多町で、江戸時代続く裕福な畳屋(相模屋)阿部重吉の末娘四女に生まれる。母はカツ。仮死状態で生まれ、母の乳の出が悪く、1年近所の家で育てられる。

伊藤博文暗殺1909＝ 4歳： 長姉・次兄・三兄は夭折、四兄は養子に出、長兄とは20、次姉とは17、三姉すら6つも年が離れ、この年まで話すことができないなど、幼時体験が特異な性格形成に関連するとも言われる。

大逆事件判決1911＝ 6歳： 評判の美少女で、父母に可愛がられ、踊りや三味線の稽古事に通わされて、高慢な性格になるなか、

明治天皇没・1912＝ 7歳： 神田尋常小学校に入学後も、稽古事優先で学校から度々注意受け、

第一次大戦始1914＝ 9歳：

性的にも早熟で、

ベルサイユ条約・1919＝14歳： 高等科1年で自主退学。慶大生と遊んで強姦されると、家の金を持ち出して町の非行青年と遊びまわり、父から度々折檻され、神田一帯に名が広まる。警察沙汰になって、家に1年監禁状態、

原敬首相暗殺1921＝16歳： ついに、芸妓に出され、横浜・富山・長野など各地を転々としながら、稼いだ金をヒモとなった女衞秋葉一家に注ぎ、

関東大震災・1923＝18歳：

治安維持法・1925＝20歳： その女衞に騙されたことを知るも、契約で縛られていたため、性病に罹ったのを契機に、遊女となり、

金融恐慌・1927＝22歳： 高級遊郭に入ると、売れっ子娼妓となるも、

客とのトラブルなどで、大阪・兵庫・名古屋を転々として、店の格もどんどん下がり、

満州事変・1931＝26歳：

五一五事件・1932＝27歳： ついに逃亡。カフェ女給・娼婦・妾・仲居などするも、毎日のように肉体関係、

国際連盟脱退1933＝28歳： 母が死去の報、

帝人疑獄事件1934＝29歳： 父重病の報で帰宅し、看病するも、父も死去。秋葉との関係も復活するが、

芥川直木賞始1935＝30歳： 名古屋市議会議員で有名商業学校校長と知り合い、初めて紳士的人物に接して論され、まじめな職にと、

二二六事件・1936＝31歳： *東京中野区新井町の割烹業吉田家に住み込みで奉公したが、すぐに主人石田吉蔵と不倫関係となり家人に気づかれ、2人で家出。荒川区尾久の待合「まさき」で、吉蔵を永遠に独占するためには殺害するほかないと熟睡している吉蔵を絞殺、さらに牛刀で局所を切り取った。死体の左上臍部に「定」の名を刻み、左大腿部に「定吉二人」、敷布に「定吉二人キリ」と血書した。懐中に切り取った局所を入れ、逃走した。逮捕され柔順に取調べを受けた定に同年懲役6年(求刑10年)の判決が下った。定はこの判決に従い栃木女囚刑務所に下獄した。刑務所での定は模範囚であったという。恩赦減刑となり、

日中戦争始・1937＝32歳：

日米開戦・1941＝36歳： 刑務所を出所。刑事から与えられた吉井昌子の名で、サラリーマンと結婚、地味な家庭生活を送っていたが、

敗戦・1945＝40歳： 戦後の、エログロナンセンスブームで、

新憲法公布・1946＝41歳： 自らのことを扱った興味本位の本が次々出され、報道もされて、妻の過去を知った夫が失踪、

極東裁判判決・1948＝42歳： 文芸春秋の雑誌で坂口安吾と対談後、「阿部定手記」を出版。

三大事件・1949＝43歳： *同じ境遇にある人々を救おうと劇団(阿部定文化事業後援会)がつくられ、静岡県浜松市の東洋劇場で長田幹彦作「浮寝鳥」を初演、定は熱演した。6か月の公演であった。役者になった定は「結婚しません。免囚保護事業のため働きます」と述べていたという。

朝鮮戦争始・1950＝45歳：

独立回復・1951＝46歳：

その後、京都で芸者、大坂でバーホステス、伊豆の旅館で仲居などしていたが、

自衛隊発足・1954＝49歳： 大割烹(星菊水)にスカウトされると、まじめに働き、

国連加盟・1956＝51歳： 秋葉が死去。

マネージャー兼女中頭となり、

インストラマン・1958＝53歳： *東京料飲食同志組合から優良従業員として表彰されるに至る。

美智子妃・1959＝54歳：

安保闘争・1960＝55歳：

その後、上野にバーを開くが、従業員に金を持ち逃げされすぐ閉店、

美濃部都知事1967＝62歳： パトロン出資でおにぎり屋を経営、定の話の間こうと、酒を飲み土方巽ら各界の有名人も訪れる。

霞ヶ関ビル・1968＝63歳： 秋葉の妻が死去すると、死に憧れるようになり、

全共闘時代・1969＝64歳： *映画「明治・大正・昭和猟奇女犯罪史」にも、自ら出演したが、

大阪万博・1970＝65歳： 忽然と姿を消し、

トルジョック・1971＝66歳： 千葉県市原市のホテルで働いていたこと、

角栄金脈辞任1974＝69歳： 浅草の旅館に匿われていたことが確認されている。

JALハイジャック・1977＝72歳：

のち熱海の老人ホームで余生を送り、

パブル始・1986＝81歳：

1987＝82歳： この年まで、父の墓前に花束が届いていた。まもなく没したと思われる。

「日本の女性」、インターネット、